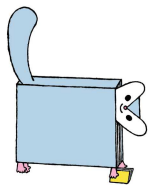


「猫の日」



2024. 2. 15

美幌町図書館長
竹花 史康

猫の鳴き声「にゃん・にゃん・にゃん」の語呂合わせで2月22日は、「猫の日」に定められています。

私は今までに5匹の猫を、現在も3匹の猫を飼っています。そのうちの4匹は、子猫の時に息子が拾ってきた猫です。そして、もう一匹は、突然亡くなった知り合いから託された猫です。

その突然我が家にやって来た猫は、「空（くう）」という名の5歳のオスです。でも、私は「クー」と呼んでいます。本当は、クラウドというステキな(?)名前が付いていましたが、どうも私には呼びづらいのです。何度口に出してもしっくりにしません。それで、頭をとって「クー」と勝手に呼ぶことにしました。

そんな私を見て妻は、「名前を変えるなら日本的な名前が良いわ」と言いだしたのです。

そこで私は、「では、空（くう）にしよう」と提案すると、妻はちょっと考えて、「そうしましょう」と言ったのです。

でも私は、今も「クー」と呼んでいます。その「クー」は、来た当初は数日間、餌にはほとんど手を付けず、猫用の小屋から出てきませんでした。やはり環境が大きく変わればストレスがかかるのは当然のことです。猫も人間も同じだとつくづく思いました。

それでも一年経った今はすっかり家族の一員です。他の2匹の猫ともうまくやれるようになり、部屋のまん中でお腹を上にして人間のように寝ています。

猫は綺麗好きで、かなりマイペースですが、甘えたいときには甘え、一人になりたくなったら一人になる、そんなところがとても可愛いのです。

作家のなかには猫好きな方が多いようで、そのなかでも養老孟司さんは有名です。テレビでもその様子が紹介されていました。

また、村上春樹さんもかなりの猫好きです。作家になる前に開業していたジャズ喫茶「ピーター・キャット」は、飼っていた猫の名前だったことは知られています。

さらに、『ねじまき鳥クロニクル』、『1Q84』や『海辺のカフカ』などの代表作に猫が登場します。やはり、猫好きでなければ描けないストーリーだと、勝手に感心しています。

犬も可愛いとは思いますが、誰にも邪魔されず、家でのおんびり読書を楽しみたい方には、猫は最高のペットかもしれません。

